1977年12月3日第三種郵便物認可（毎月1・2・3・5・6・7の日発行）2019年7月20日発行SSKP増刊通巻7210号

SSKP

はれのちくもり

第117号

ピアス通信別冊第38号

『はれのちくもり　別冊ピアス通信』では、就労移行事業所・自立訓練事業所ピアスのトレーニングやイベントを中心に「働く」ことに関する情報を発信していきます。

このたび、副施設長の荒木さんが「なびぃ」へ異動することになりました。今回の「ピアス通信」は異動特集。まずは3年間、主に生活訓練事業を支えて下さった荒木さんから、みなさんへのご挨拶です。

ご挨拶

～思い通りにならない人生も悪くない（？）かも～

このたび、「ピアス」から「なびぃ」に異動することになりました。

ピアスを利用している皆さんと同じく、ピアスをばねに巣立っていくということでしょうか。本当に皆さんには感謝の言葉しかありません。

この原稿を書いている時点であと数日後には50歳の誕生日を迎えます。10代のときにこの地でこんな風な生活や仕事をしているなんて、想像をしていなかったし、できなかったというのが本心です。

ただ、私が想像できなかったというレベルではなく、皆さんもピアスにいるということを、若い時には想像していなかったと思います。特に現役メンバーの方が「ピアスにきてよかった」「皆に会えてよかった」などというような単純な感情でいられないのは理解しているつもりです。「辛かったこと」「悲しかったこと」など前向きになれない感情をおしころし、葛藤の中でピアスに通っている方もたくさんいるのではないかと思います。

確かに、障害があるとか無いとか関係なく、自分を丁寧に見つめ、自分をきちんと知り、自分を目的に向け変えていくことは並大抵のことではありません。物事を受け入れ、変えていくことの難しさを体感するピアスだからこそ、通うのが大変なのは当たり前のことです。

しかし、葛藤を抱えている皆さんにも希望をもってほしいと思います。「多くの先輩達が、希望を胸にこのピアスを卒業して行った」という事実があります。

私自身、あこがれ思い描いたような人生からはちょっと違うけれど、思いもがけず、一人ひとり皆さんと出会えたことが多くの財産になっています。次の職場に希望をもっていけることに感謝して、異動の挨拶に代えさせていただきます。

「ありがとう。」

社会福祉法人　多摩棕櫚亭協会

荒木　浩

なびぃ　伊藤さん

荒木さんとバトンタッチでやって来たのは「なびぃ」の施設長である伊藤さん。実はピアスの職員だったこともあるのです！

「いつもスカーフをしているのは何かのわけが？」「副施設長の目標は？」現役メンバーが伊藤さんの人となりや、これまでの取り組みをご紹介すべくインタビューを行いました。

Q1　世の中には色々な職がありどの仕事も魅力的です。今の職についた経緯と、やりがいを教えてください。

A.高校の倫理の先生が不登校の生徒の相談にのるボランティアをやっていたんです。そこで初めて、人と向き合う仕事に興味を持ちました。大学はカウンセリングの方向に進んで、そこで病院実習があったんです。外ではみんなで野球をやって楽しいムードだったのに、病院に戻ったら何事もなかったかのようにシーンとしちゃって……カウンセリングって、いったい自分に何ができるんだろうって、無力な印象を持ちました。そのあと別の勉強をしているとき、たまたま福祉を知って、そのとき「福祉だったら、みんなの生活に直接関わって行動や生活を変えられるんじゃないか」と思い、この世界に入りました。

やりがいは……メンバーが自分のことに前向きになれる瞬間を共有できるのがいいですね。あと、失敗を一緒に振り返ってあとでお互いに突っ込める瞬間も好きです。そのために仕事をしているのかなって思えます。

Q2　仕事を続けるのは簡単なようで難しいと感じているのですが、伊藤さんはどのようにモチベーションを保ちながら仕事をしていますか？

A.モチベーションっていうのかわからないけれど、仕事も生活も、全て連動していると思うんですよね。生活で楽しいことがあればメンバーに教えたくなるし、メンバーに楽しいことがあれば自分もやってみたくなる。仕事にやる気がないとか思う暇がなくて、生活に楽しいことがあれば仕事も楽しいです。

Q3　なびぃで力を入れて取り組んでいたことを教えてください。

A.まず、なびぃでは生活の土台を作っていくんですけど、土台作りの過程で、その人の幹を太くすることをすごく大事に思っていました。家から一歩出てなびぃに相談に来て、人と出会う。そのために、なびぃに来られるような仕掛けを考えて実践していました。

でも、時代によってメンバーさんの層も変わってくるので、ずっと同じじゃうまくいかない。今の皆さんが来やすいようにどうしたらいいのか、必要に応じて変えていくこと、柔軟であることを大事にしています。

あとは結構みんなでイベントをやるんですよ。演奏とかコントとか。土曜日によく開催してるんで「異動してからもおいでよ」って言ってもらえて、すごく嬉しい。

で、人前で何かするってすごく緊張しますよね。だから「メンバーがやることは職員もちゃんとやる！」っていうのをすごく大事にしてました。うまくてもへたくそでもとにかくやる。なんかみんなも恥ずかしそうに、でも度胸がある感じで、そういうのがすごく楽しいですね。

異　動　イ　ン　タ　ビ　ュ　ー

Q4　前にピアスにいたときの思い出を聞かせて下さい。

A.ピアスにいた頃（2010年ごろ）は山地さんの弟子として厨房に入っていました。山地さんは「オープナーの人」というイメージだと思いますが、実はピアスの割烹着がとても似合うんです。水色の割烹着を着ていたのが印象的で、厨房を仕切っているのがすごくたくましかったな。「ピアス」っていうものを教えてくれたのは山地さんです。

　あと、ワークサンプルは昔なくて、環境と厨房と事務補助はありました。厨房はコロッケにソースを入れ忘れて、持っていかなきゃならない！ということがあったのを今でも覚えています。

Q5　ピアスに異動するにあたって楽しみなこと、不安なことはありますか？

A.なびぃだと1対1になることが多いのですが、ピアスではみんなで一緒にやれることが多いので、早くその渦に巻き込まれたいです。

　不安なこと……わたし五十肩なんですよ（笑）。だいぶ治ってきたけど、厨房の大釜が洗えるか心配なので、もうちょっとリハビリ頑張ります。

Q6　副施設長としての目標を教えて下さい。

A.今のピアスを知らないので、まずはどんな感じかをメンバーのみんなに教えてもらいたいと思っています。皆が就労を目指す応援はするのだけれども、折角なびぃから来たので「生活者」としての視点、つまりスタッフも含めて同じ生活者だという意識を持って仕事をしたいなと思っています。メンバーさんもスタッフも若くて、一緒に成長している感じがするんですよ。一人一人が地に足をつけて生きていくということが就労に繋がるし、働いていない時間も含めて豊かになっていけたらいいなと思います。ピアス自体の幹をもっと太くしていきたいですね。

Q7　ピアスのスタッフから、伊藤さんといえばオシャレなスカーフを巻いている方だと伺っているのですが、お気に入りのスカーフの色やデザインを教えてください。

A.首が冷えるので、巻いていないといられない事情があって巻いています。

　紺・白・黒が組み合わさっているとなんだか素敵に見えてしまいます。あと、麻とか綿とかの天然素材のものが好きですね。

Q8　ピアスのメンバーが伊藤さんとなじみやすくなるように、これだけは知っておいて欲しいことがあれば教えて下さい。

A.音楽とかマンガとか好きです。結構なびぃでもメンバーさんからマンガとか貸してもらってます。まだ『銀魂』を最後まで読めていないので、異動したあとも借り続けようって話をしています。CDとかもメンバーさんから借りたりしてそういうのが楽しいので、おすすめがあればぜひ教えて下さい。

定着支援報告

6月８日（土）梅雨の晴れ間の中OB会を開催しました。

当日は11名のOBが参加し、賑やかで楽しい時間を過ごすことが出来ました。

まずはみんなでゲームからスタート！記憶ゲームではみんな輪になって「好きなスポーツ」や「好きな食べ物」を伝えあっていきました。最後の方になると覚えるものが多くなり、大変なゲームでしたが、わからないときはヒントを出して無事に終了。後半はお決まりの「フルーツバスケット」で熱い戦いが繰りひろげられました。

後半ではお菓子とドリンクで自己紹介と近況報告。「職場で苦手な人がいてどう対処するか困っている」や「体調が優れないときや、痛みなどの身体症状が出たときにどうカバーしているのか」など実際に働いている現場での悩みや困りごとを「自分はこうしているよ」「こんなやり方があるんじゃない」とたくさんのアドバイスがありました。こういうひと言があると、明日からきっと頑張れるだろうなぁと感じました。また、結婚をしたメンバーもいて嬉しい報告もありました。

OB会がピアスを卒業してからも、仲間やピアスとのつながりを持ち続ける場になっていることを、あらためて実感することができました。

（ピアス　浅野）

編集後記

○業務体験、印刷作業の二回目になりました。自分の課題もみえてきて、とても為になる経験だと思います。みなさま、ありがとうございます。（A）

○初めての作業でわからないことばかりでしたがやり終えた達成感は何とも言えないです。（N）

ホームページでは最新情報をお届けしています。

→www.shuro.jp

または『棕櫚亭』で検索！

★QRコードできました★

【編集】国立市富士見台1-17-4
社会福祉法人　多摩棕櫚亭協会
就労移行支援事業所ピアス内
はれのちくもり編集委員会
Tel 042-575-5911
【発行】特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 世田谷区祖師谷3-1-17-102
Tel 03-6277-9611
【定価】100円